

2. 乳幼児

特 性

乳児期

保護者や周りの大人からの語りかけによって、言葉を獲得していく時期です。読み聞かせを通して、親子のふれあいが生まれ、絆が深まります。また、本に親しむきっかけづくりの土台となる時期です。

幼児期

言葉が豊かになり、色々な分野の本に興味を示し始める時期です。物語の世界を想像して楽しむことができるようになります。また、家庭から保育所や幼稚園などへと、一日を過ごす生活の場が変化し、集団での読み聞かせや本などを通じた遊びや体験などにより、文字や言葉に興味を示したり、自らの力で本を読むことへとつながっていく時期です。

方 針

- おすすめ本の紹介や家読（注9）について啓発を行い、様々な本との出会いの場や機会を提供します。
- 保健センターの地域文庫の充実を図り、身近な場所で本にふれることのできる環境を整備します。
- ブックスタート事業を継続実施し、赤ちゃんへ発達段階に応じた絵本を贈るとともに、関連施設と連携し、子育て情報を提供します。
- 幼稚園・保育所、育成会事業への出張おはなし会や貸出文庫を充実させ、子どもたちが様々な本と出会えるような事業を推進します。
- 本を通じた親子のふれあいができるように、「おはなしのひろば」などの環境整備や周知活動の充実を図ります。
- おはなし会「たまてばこ」の参加者が減少していることから、そのあり方を見直します。
- 本や体験を通して、親子がふれあう機会の充実を図ります。
- 紙芝居や大型絵本、読み聞かせ機材を充実させて、おはなし会の内容を豊かにします。

注9／家読（うちどく） 家族で本を読んでコミュニケーションを図り、家族の絆を深めることを目的とした読書活動。

■児童書を一層充実させて、本と出会う機会を提供します。

■本などを活用した体験や遊びを通して、本や言葉に親しむ機会を提供します。

アクションプラン

実施主体	取り組み	区分
家 庭	家読タイムの実施	2019～2023
	絵本の読み聞かせやふれあい遊びを通したスキンシップ	
地 域	出張おはなし会の活用	2019～2023
子どもと大人が 集まる施設	絵本の紹介や読み聞かせ、子育て情報の提供	2019～2023
	地域文庫の活用	拡 充
	出張おはなし会の活用	2019～2023
幼稚園 保育所 託児所	園児・通所児への読み聞かせ	2019～2023
	読み聞かせ機材の活用	
	本などを通した体験遊びや創作遊びの提供	
	読書環境の整備	
	貸出文庫の活用	拡 充
図書館	「ブックスタート」の実施 (4・5か月児相談時／1歳6か月児健診時)	2019～2023
	出張おはなし会の実施	
	読み聞かせ機材の充実	
	児童書の充実	
	月齢・年齢に応じたおすすめ本の紹介	
	出生届提出時におはなし会の案内	
	0～3歳児向けの絵本のおはなし会 「あかちゃんといっしょ」の充実	拡 充
	幼稚園・保育所・託児所への団体貸出の充実	
	絵本のおはなし会「たまたばこ」の見直し	
	絵本作家による講演会やワークショップの開催	2019～2023
	企画展示の実施	
	本や体験を通して親子がふれあう機会の充実	拡 充



3. 小学生

特 性

小学生になると、読書の喜びを知り、自ら本を読みたいと思うようになります。文字を覚え、徐々に主体的に読書習慣を身につけていく時期です。

低学年

字が読めるようになったからと、一人読みをさせてしまいがちですが、まだまだ文字を追うのが精一杯な時期でもあります。読み聞かせて本の楽しさを知ること、自ら進んで本に手を伸ばすようになります。

中学年

興味が多様化していく時期です。物語だけではなく、科学や自然、知識の本を好む子どもいます。子どもたち一人ひとりの興味や関心に応じた本を薦めていくことが大切です。

高学年

生活体験が豊かになり、幅広い分野の中から、自分の目的に合った本を、適切に選択できるようになる時期です。読書離れの始まる時期でもあるため、子どもたちが主体的に本を手に取りたくなるような働きかけが必要です。

方 針

- おすすめ本の紹介や家読についての啓発を行い、子どもの自主的な読書を促すとともに、様々な本と出会う機会を提供します。
- 学童クラブや児童館などへの貸出文庫を充実し、身近な場所で本にふれることのできる環境を整備します。
- 学校図書館担当業務を担う人員の配置や蔵書のデータベース化へ向けての支援に努めます。
- 「学校との連携による子どもの読書活動支援事業連絡会議」において、先生と意見交換を行いながら、それぞれの学校に合わせた図書室の運営サポートに取り組みます。

- アニメーション（注 10）やブックトーク（注 11）など、本を活用した体験や遊びを通じて、本に親しむ機会を提供します。
- パスファインダー（注 12）やガイドブックなどを活用し、調べ学習の支援強化を図ります。
- 相談するための相談窓口や体験講座などを開設し、調べ方や自分で調べることの楽しさを伝えます。
- 調べる学習や自由研究の成果発表や評価の場として「調べる学習コンクール」を開催し、子どもたちに目標をもってもらうとともに、調べ学習活動のすそ野を広げます。
- 児童書を一層充実させて、本と出会う機会を充実します。

アクションプラン

実施主体	取り組み	区分
家 庭	家読タイムの実施	2019～2023
	絵本の読み聞かせやふれあい遊びを通じたスキンシップ	
地 域	出張おはなし会の活用	2019～2023
子どもと大人が集まる施設	出張おはなし会の活用	2019～2023
	貸出文庫の活用	
学 校	学校図書館担当職員の配置の検討	2019～2023
	蔵書データベース化の検討	
	図書館との連携による学校図書館の整備	拡 充
	学校図書館の蔵書の充実	2019～2023
	図書委員会の活動の充実	
	調べ学習での図書館の活用	
	調べる学習コンクールへの参加	拡 充
	図書館だよりの発行	2019～2023
	朝読書や休み時間を使った読書タイムの実践	
	生活科や総合的な学習の時間での図書館の利用	
	読み聞かせの実施	

注 10／アニメーション 読書をゲームとして楽しみながら読解力・表現力・コミュニケーション力を育てる読書指導法。

注 11／ブックトーク 一定のテーマを立てて、一定時間内に何冊かの本を複数の聞き手に紹介すること。その目的は「本の内容を教える」ことではなく、「本の面白さを伝える」、「その本を読みたいという気持ちを引き出す」ことである。

注 12／パスファインダー あるテーマに関する資料や情報を探すための手順や調べ方を、簡単に紹介した手引きのこと。

実施主体	取り組み	区分
図書館	パスファインダー・ガイドブックの充実と活用	新 規
	調べる窓口の開設	拡 充
	調べる学習体験講座の開催	
	調べる学習コンクールの開催	
	アニメシオンの実施	2019～2023
	読書感想文向け図書の紹介と展示	
	調べ学習向け図書の紹介と展示	
	それぞれの学校に合わせた学校図書館の運営サポート	拡 充
	児童書の充実	2019～2023
	月齢・年齢・学年に応じたおすすめ本の紹介	
	図書館学級文庫の実施	
	調べ学習図書の貸出	
	ブックトークの実施	
	読書アルバムの配布	
	絵本の読み聞かせの実施	
	絵本作家による講演会やワークショップの開催	拡 充
	絵本のおはなし会「たまたてばこ」の見直し	
	企画展示の実施	2019～2023



4. 中学生

特 性

読書の広がりや深まりが進み、自分で未来を切り拓いていく力を身につけていく時期です。その一方、勉強や部活動、趣味などで読書にかけられる時間が少なくなる傾向が出てきます。読書を習慣づける取り組みや、多様な趣味・関心に応じた読書環境の整備が重要となります。

方 針

- おすすめ本の紹介や家読についての啓発を行い、子どもの自主的な読書を促し、様々な本との出会いの場や機会を提供します。
- ヤングアダルト（注 13）世代の興味・関心を考慮した本の充実と情報発信を行います。
- 学校図書館担当業務を担う人員の配置や、蔵書のデータベース化へ向けての支援に努めます。
- 「学校との連携による子どもの読書活動支援事業連絡会議」において先生と意見交換を行いながら、それぞれの学校に合わせた図書室の運営サポートに取り組めます。
- 教科の単元に合わせた資料リストなどを作成し、資料の活用を推進します。
- 国の第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」の中で、「スマートフォンの普及等の情報環境の変化による子供の読書環境への影響の可能性について実態把握・分析」を行うことから、これと連動する形で影響について検証します。

注 13／ヤングアダルト 発達心理学で「成人期前期」のことを指し、「公共図書館におけるヤングアダルト（青少年）サービス実態報告」（日本図書館協会・1993）では、13歳から 18 歳（中学生から高校生の学齢）の利用者と規定されている。

アクションプラン

実施主体	取り組み	区分
家 庭	家読タイムの実施	2019～2023
学 校	学校図書館担当職員の配置の検討	2019～2023
	蔵書データベース化の検討	
	図書館との連携による学校図書館の整備	拡 充
	学校図書館の蔵書の充実	2019～2023
	読書環境の整備	
	図書委員会の活動の充実	
	調べ学習での図書館の活用	
	図書館だよりの発行	
	朝読書や休み時間を使った読書タイムの実践	
	総合的な学習の時間での図書館の利用	
	職場体験での図書館の利用	
図書館	教科の単元に合わせた資料リストの作成	新 規
	児童書の充実	2019～2023
	ヤングアダルトコーナーの充実	
	読書感想文向け図書の紹介と展示	
	調べ学習向け図書の紹介と展示	
	それぞれの学校に合わせた学校図書館の運営サポート	拡 充
	学年に応じたおすすめ本の紹介	2019～2023
	図書館学級文庫の実施	
	調べ学習図書の貸出	
	学習室の利用促進	
	企画展示の実施	
	職場体験の受入	
	各学校図書館だよりの図書館での展示	拡 充
	国の調査を活用したスマートフォンの読書環境への影響の検証	



5. 高校生

特 性

悩み多き多感な世代で、不読率（注 14）が増加する時期です。人生の指針となる本との出会いが、将来に向かっての成長を促すきっかけにもつながることから、身近な友人や先生などからの、本を薦める取り組みが大切です。

方 針

- おすすめ本の紹介や家読についての啓発を行い、子どもの自主的な読書を促し、様々な本との出会いの場や機会を提供します。
- ヤングアダルト世代の興味・関心を考慮した本の充実と情報発信を行います。
- 学校図書館担当業務を担う人員の配置や蔵書のデータベース化へ向けての支援に努めます。
- 高校生がおすすめの本を紹介する「ビブリオバトル」（注 15）を実施します。
- 部活動やボランティア活動に、情報発信や成果発表の場を提供し、読書離れが進む世代に図書館の活用を促します。
- 国の第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」の中で、「スマートフォンの普及等の情報環境の変化による子供の読書環境への影響の可能性について実態把握・分析」を行うことから、これと連動する形で影響について検証します。

注 14／不読率 全国学校図書館協議会と毎日新聞社が行っている、全国の小・中・高生を対象にした「学校読書調査」の中で、調査期間の1か月間に「全く本を読まなかった」割合。

注 15／ビブリオバトル 発表者が自分のおすすめ本を持ち寄って5分間で紹介し、観客がどの本が一番読みたくなったかを投票して、1位の「チャンプ本」を決定する書評イベント。「知的書評合戦」とも呼ばれる。

アクションプラン

実施主体	取り組み	区分
家 庭	家読タイムの実施	2019～2023
学 校	学校図書館担当職員の配置の検討	2019～2023
	蔵書データベース化の検討	
	図書館との連携による学校図書館の整備	
	学校図書館の蔵書の充実	
	読書環境の整備	
	図書委員会・図書局の活動の充実（図書館との連携）	
	調べ学習での図書館の活用	
	図書館だよりの発行	
	朝読書や休み時間を使った読書タイムの実践	
	図書館を使った活動や情報発信	
	職場体験での図書館の利用	
図書館	「ビブリオバトル」の実施	拡 充
	ヤングアダルトコーナーの充実	2019～2023
	それぞれの学校に合わせた学校図書館の運営サポート	拡 充
	学年に応じたおすすめ本の紹介	2019～2023
	企画展示の実施	
	職場体験の受入	
	部活動やボランティア活動の情報発信や成果発表の場の提供	拡 充
	国の調査を活用したスマートフォンの読書環境への影響の検証	

